

公民館だより

題字：前衛書家「吉川壽一」先生

平成25年11月15日発行【第336号】

発行元
吉崎公民館

福井県あわら市吉崎 8-34

郵便番号 922-0679

電話 0776(75)1205

komin-yoshizaki@city.awara.lg.jp



『国指定史跡「吉崎御坊跡」、区民総出の落ち葉清掃』

国指定史跡「吉崎御坊跡」（通称吉崎御山）の清掃が11月3日（日）、区民総出で行われました。

午前中は天候にも恵まれ、参加者は早朝より竹ぼうきやベブラを持って集まり、落葉集めなどに汗を流しました。

毎年恒例の行事ですが、高齢化と過疎化が進み、年々参加者が減って来ています。吉崎地区に住み、暮らしていると、ついつい忘れてしまいがちになりますが、吉崎の御山の素晴らしさ、蓮如上人の銅像の素晴らしさ、御山から見える景色の素晴らしさ、いずれも観光地として誇れるものです。

自分のふるさとは何処なのか、いろいろ賛否両論はあると思いますが、年に2回ある御山掃除に是非とも参加して頂き、今一度ふるさと「吉崎」の良さを見直す事も必要です。

また、当日は、福井百景に選ばれた、鹿島の森への展望をよくするために伐採された箇所の整備も、有志の皆さんのおかげで行う事ができました。

天気のいい日は、是非御山に上がって、日本海を眺め、「よもすがら たたく船ばた吉崎の 鹿島続きの山ぞ恋しき」と蓮如上人が詠まれた気持ちを、今一度感じてほしいと思います。



12月15日（日）；吉崎公民館大掃除

是非ご協力ください。午前9時からです。

『あわらし学校給食センター完成』



10月25日、総事業費約15億円をかけた「あわらし学校給食センター」が完成し、27日（日）に関係者約60人が出席して竣工式が行なわれました。

来年の1月初めより、市内すべての小中学校、公立幼稚園へ給食の提供が始まります。

また、調理場内の様子を見学できる見学通路や市民が調理実習などに使える「食育スタジオ」が設けられ、11月1日から利用されています。

安全で安心な給食の提供が求められている現代、これにより安全で安心な子ども達が喜ぶ給食を提供できることになります。

『俳句会と植樹祭』

秋色に染まった吉崎御山で、10月22日（火）、吉崎小学校「秋の俳句会と植樹祭」が行われました。

金津花蝶会の國本先生の優しいご指導の下、俳句に取り組み始めて今年で4年目になります。季節を捉えた子供たちの豊かな感性で作られた俳句には、毎回感嘆させられます。

俳句は人とのかかわりと、自然を大切にする心を育みます。小学校を卒業しても、守り続けていってほしいと思います。

また、毎年新入学児童が御山に入学記念の植樹を行っています。今年は4人の1年生が、ソメイヨシノを植えました。子どもたちは自分の身長以上の大きな桜の苗木を御木造園さんの指導のもと先生方と一緒に一人一本つつ丁寧に植えました。子ども達の元気な成長と共に、綺麗な花を咲かせてくれる事でしょう。



『頑張って走りました！』

11月8日（金）、吉崎小学校秋季マラソン記録会が晴天の下、行われました。

スタート・ゴール地点である小学校前や沿道には、たくさんの保護者の方々や、地域の方々が応援に駆けつけ、大きな声援を送っていました。

子どもたちは、自分の記録をさらに向上させようと、一生懸命頑張りました。

走るのが早い子も遅い子も、どの子どもたちも、みんな元気に最後まで走り切ることができました。校下の皆様、温かい応援ありがとうございました。そして小学校の皆さん、お疲れ様でした。次回も「記録に挑戦」、楽しみにしています。



『いつまでもお元気で！！』

健康長寿祭

10月22日（火）、23日（水）、あわら市健康長寿祭がトリムパークかなづで行われ、今年は金津地区から約750人、芦原地区から約470人の75歳以上のお年寄りが参加しました。

ステージで展開される、歌謡ショーや伊井・金津両保育所の園児たちの踊りに遊戯、あわら温泉の芸妓らの踊りなど、様々なアトラクションを楽しみ、秋の1日を過ごしました。

吉崎地区、浜坂区からもたくさんの方が参加されました。

ご長寿、おめでとうございます。



『第10回あわら市社会福祉大会』



10月27日（日）、「YAROSSA！！『ちいきの和づくり』」をテーマに、第10回あわら市社会福祉大会が中央公民館で行なわれ、多くの社会福祉関係者が集まりました。

大会に先立ち、社会福祉に貢献した市内外の方々29人に、表彰状並びに感謝状が贈られました。会場では、展示コーナーやステージ発表も行なわれ賑わいました。

また、ボランティア団体や福祉団体の模擬店もあり多くの皆様にご来場いただきました。

『秋の吉崎路を歩く！！』

10月27日（日）、健康増進と交流を目的としたウォーキング交流会「あわらチャレンジウオーク25！！」（健康長寿課主管）が、参加登録者を対象に行なわれました。

秋晴れのウォーキング日和の中、参加者23名は正しい歩き方講習と準備体操で心と体も柔軟になったあと、約4kmのコースを歩きました。吉崎語り部の会の名物ガイド付きで、吉崎御坊跡の歴史・名所などを巡りながら、鹿島の森（加賀市）までの自然を楽しみました。

今回の「あわらチャレンジウオーク25！！」は、健康維持・増進はもとより、地域活性化・一体感の醸成、さらには心のケアにもなり楽しい充実のウォーキングイベントでした。



【吉崎再発見】44 ～蓮如上人銅像物語③～

太平洋戦争の終りごろ、物資不足からの金属回収が行われ、全国の仏具、つり鐘、銅像など、ほとんどが軍需に供給されていきました。そして、いよいよ吉崎の蓮如銅像にも、赤いたすきが掛けられたのです。多くの信者が数珠を手に拝みました。

東西両別院では、「信者の目の前で、引き倒したり、たたいたりしないで下さい」と嘆願しました。

兵隊さんは「それもそうだ」といって、高いやぐらを作って銅像を台座からおろすことにしました。ところが怪我人が出たりして、吊りおろすことができませんでした。

そこで蓮如銅像の回収を止めて、銅版だけ外して持っていったのでした。（見ていた人々のお話）





『吉崎語り部の会研修会』

11月10日（日）、「吉崎語り部の会」研修会で、晩秋の白山平泉寺と朝倉氏遺跡を地元ガイド付きで巡ってきました。吉崎地区の語り部会員だけでなく、語り部の仕事を知らしてもらうため、一般の方も、多く参加されました。

小雨の中、勝山市ガイドボランティアクラブ・本田高土さんの案内で杉木立と青苔が美しい石畳の参道を歩き、平泉寺旧境内と発掘整備が進む南谷三千六百坊跡を見学しました。白山信仰を背景に大きな宗教勢力を誇った大宗教都市のロマンを感じました。

次には、遺構が残る「一乗谷朝倉氏遺跡」。朝倉氏遺跡保存会・岸田清さんの案内で、復原町並と一乗谷朝倉氏遺跡・庭園を見学し、館のあった山に登って川を眺めみると、当時の戦国大名越前朝倉氏の繁栄を偲ぶことができました。

何回か、いったことのある場所ですが、地元ボランティアガイドさんの説明を聞くことで10倍以上楽しめました。これがボランティアガイドの究極の目的、「おもてなしの心」です。

着地型観光が問われる今日、地域の生活・文化・歴史等を語ることは地域を良く知るガイドの役割が重要になると言って頑張っておられました。今回、地元ガイドさんに案内をいただき、学ぶことの多い研修会となりました。



『御文講座』

蓮如上人の御文（御文章）の第三帖第九通「御命日の御文」をテーマにした、「御文講座」が11月3日（日）、吉崎蓮如上人記念館で開かれました。

本願寺蓮枝霊光院大谷実成氏と吉崎公民館前館長・山本篤氏との対談方式で行われ、25人の聴講者が熱心に聴き入っていました。また、この時期各地で行われている「報恩講」について、質疑応答も行われました。



「アートドキュメント2013土門拳の子供たち」



10月26日（土）、日本写真界の巨匠、土門拳が昭和10年から30年代に撮影した子どもたちの写真を展示する金津創作の森の企画展、「アートドキュメント2013土門拳の子供たち」のオープニングセレモニーが行われました。

土門拳の子供を通し時代を捉えた作品からは、昔懐かしさを感じさせられると共に、子どもたちの表情や天真爛漫な笑顔を通し、当時の社会問題や、戦前戦後の時代を浮き上がらせています。そこには、「土門拳の子どもを見つめ

る温かなまなざしの中に、とても人間くさい一面」を読み取ることができます。

また同時開催の「あわらの子どもたち」を写した昔懐かしい写真コーナーもあります。

是非足を運んでください。尚、優待券は吉崎公民館に用意してありますのでご連絡ください。

『森のアートツアーに参加して』 あいちトリエンナーレ2013



10月19日（土）、「金津創作の森」アートツアーで、あいちトリエンナーレ2013に参加しました。

「揺れる大地・われわれはどこに立っているのか・場所。記憶、そして復活」をテーマに、現代美術、パフォーマンス・アーツやオペラなど世界最先端の現代アートを紹介しています。また、建築的な視点を取り入れた作品も多く、東日本大震災を含む世界各地で起きている大きな変動をとらえた国内外アーティストらによる先端的な現代美術

やジャンルを越境する舞台芸術を見ることができました。

名古屋市美術館では、世界各国の現代美術家たちの新作を見ることができ、納屋橋会場は、ボウリング場だった建物を改装したもので、内部は暗く迷路のように仕切っているいるせいか映像も多く、巨大な部屋では、見ごたえのある作品群になっていました。

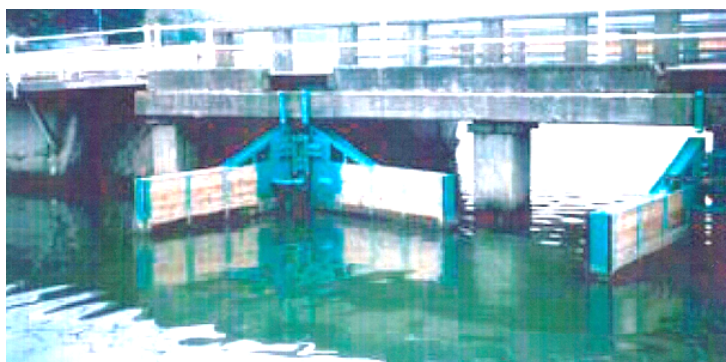
まちなかアートがテーマのトリエンナーレは、名古屋市内に会場が点在しているため「ベロタクシー」（無料）が運行され、市内の主要会場を繋いでいました。巨大な作品も多く「揺れる大地」のテーマに沿った作品も集中していて、それぞれの作品から社会背景を読み取ることで、ただだけでは分からない動機づけや意欲、意図を理解することができ楽しめました。希望のモニュメント、巨大なサン・チャイルドが鎮座し、訪れる観光客を待っていました。（板谷）

The 時代 『吉崎御坊の建立』 吉崎の変遷を辿る

特別資料編

吉崎の岩崎から浜坂までの間、約100メートルは、北潟湖の喉頸にあたり、昔は「渡し舟」で行き来していました。

この喉頸は日本海満潮時に海水の流入する所で、湖畔の村々は満潮のときには日本海から海水が浸入して水田が塩害を受け、洪水と満潮と重なる時には浸水して困っていました。



それゆえ、ここに汐留堤防と水門橋を造れば交通、水害、塩害が一挙に解決し、湖畔に新しい開田もできるので、周辺の村々は、福井藩へ嘆願をしていました。

藩では幕末に開田役所を設け、慶応3年（1867）に工事を許可し、2月15日から着工し、3月1日には藩主茂昭も自ら視察に来ました。基礎工事の松杭は二列に、幅20尺（6メートル）、平水の高さに打ち込み、藤で結合して中へ岩石と土砂を詰めたのです。堤防は、基礎の上に水際から高さ10尺（3メートル）の石垣を築き、上幅15尺（4・6メートル）の通路にしました。

水門は幅12尺（3・9メートル）、間柱で三つに仕切り、外側に4尺（1・2メートル）の水戸を取り付け、満潮時に海水が入らぬように自動的に閉じる仕掛けにしました。

これにより、北潟湖畔に新しく水田ができるようになったので、この橋を「開田橋」と言いました。吉崎まいりで賑わう頃、小舟はこの水門を出入りしたのです。

また、満潮の時は自動的に扉が閉ざされて海水を止めることが出来るようになったので、「汐留め橋」とも言うのです。

その外、浜坂寄りに非常用の水門を設け、大船が出入りしました。

工事は慶応3年6月5日に完成しました。

福井藩が負担した工事費は、銀610貫800匁（約1万両）御用係は大庄屋・和田藤三郎（見谷屋）で、人夫延べ1,050人は吉崎、浜坂、北潟、細呂木、蓮ヶ浦、赤尾で負担し、松杭は藩有林から伐出し、また岩と土砂は御山の下の方堀り場から切り出しました。

水門の管理は藩命により見谷屋が勤め、廃藩後から湖岸の六力村の組合で管理して現在に至っています。堤防道路は、昭和28年に県道となり、45年4月1日から国道305号線と兼用になりました。



それ以後、旧金津・芦原両町の境にあって、高さは水面から1・9メートル、昭和42年に改修したもので水門は幅11・7メートル、4枚の自動式鉄扉が取り付けてありました。

戦後、蓮ヶ浦、北潟、牛山、池上方面の畑田にポンプで灌漑するようになったので、塩害防止に日ノ出橋でも堰をしています。

しかしこの橋は、魚類の出入りが制限されてしまうので、漁業組合の要望もあり、潮止めの扉を管理していました。

現在の橋は、平成19年に完成し、自動的に扉の開け閉めを行っています。

駐在さん、だぁ～い好き！ -その17-

こんにちは、吉崎駐在所の宮越です。

平素は、警察業政各般にわたり多大なご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。

1. 個々訪問（巡回連絡）を継続して実施中です。

吉崎駐在所では、皆様の街の治安を預かる責任者として、自己紹介を兼ねて、春から順次すべてのお宅を個々訪問（巡回連絡）させていただいています。

「吉崎・浜坂地区」・「北潟東地区」・「北潟西地区」・「波松地区」・「波松4区・富津・赤尾」地区を並行して実施しています。皆様の声を聞かせていただければ幸いです。

除雪前の12月まで、計画的に実施していく予定ですが、業務の都合上、今年中にすべてのお宅を巡回できないかもしれませんが、その点何卒ご了承をお願い致します。

なお、ご相談やお困り事があれば、巡回中にお気軽にお声かけください。

また、お急ぎの場合は、あわら警察署（73-0110）までご連絡ください。「宮越」を指名していただければ、できるだけ宮越が直接お伺いさせていただきます。

2. 不法投棄・野外焼却は犯罪になります。

建設廃材を不法投棄したり、産業廃棄物などの粗大ゴミを山林等の人目に付きにくい場所に不法投棄する事例が相次いで発生しています。また、野外焼却（いわゆる野焼き）も同様です。

いずれも「廃棄物処理法違反」という犯罪となり、最高で5年以下の懲役、もしくは、1,000万円以下の罰金が科せられます。

私たちの郷土である美しい北潟の自然を守るため、皆様のご協力をお願い致します。

また、特に12月中は「不法投棄等防止啓発強調月間」となっており、パトロールや取締りも強化されますのでご注意ください。

なお、家庭で不要になった家電製品は、家電リサイクル法に基づき小売店に引き取ってもらうよう適正に処理してください。

不法投棄や不正な産業廃棄物の処理をご覧になったり、お聞きになった場合は、上記と同じあわら警察署の宮越までご連絡をお願い致します（73-0110）。悪質なものであれば、警察で検挙いたします。

**【今月のことば】****「泰然自若」（たいぜんじじゃく）**

泰然自若とは、落ち着きはらって物事に動じない様、ゆったりと落ち着いて平常と変わらない様ということです。

「泰然」は悠然としていて動じないこと。「泰」はおおらかでゆったりとしている意で、「然」は肯定・承認の意があるそうです。また、「自」にはおのずから・自然にという意があり、「若」はしたがう、～のごとしの意があるのです。

自らにしたがうならば、他に惑う事はない。よって、「自若」は常に落ち着きを失わず、平常と少しも変わらない様となります。

落ち着きのない人生、せめて気持ちだけでも泰然自若でいたいものです。（挿絵；小坊主つばめ）



*都合により、「シリーズこの人に聞く」は休載します。

【ふるさとクロスワード】

＊答えの解った方は、公民館まで連絡して下さい。正解者には、年度末に素敵な賞品が当たる抽選券を差し上げます。

(×切は平成25年12月10日)

先月号の回答は「トウカイ」で、Bの「静岡」でした。

今月の問題

パズルの中のAからDの4文字を並び替えて組み合わせ、日本のある都道府県にしてください。その都道府県はどの地方に属するのか、下の3つのうちから選んでください。

(A ; 近畿、B ; 東北、C ; 関東)

1		7		12		15
A						
2	6		10		13	
3			11			
	B					
4		8			D	
		9			14	
		C				
5						

【よこのヒント】

- ① ; 越前の戦国大名、朝倉義景が居城とした場所で、福井市にあるソフトバンク社がCMに使ったところは？
- ② ; 大気汚染など、公害が原因となって起きる疾患の事。
- ③ ; 音律に合わせて数を整えた詞。短歌、旋頭歌なども含まれる。
- ④ ; 日本三景の一つで、広島湾南西部の島。
- ⑤ ; オーボエやクラリネットは木管楽器、トランペットやトロンボーンは〇〇。
- ⑨ ; 何も混ぜない湯。薬を飲むときには、これが一番です。
- ⑪ ; 写真で、印画紙の光沢を消して焼き付けたもの。

【たてのヒント】

- ① ; 室町末期、越前・加賀・三河・近畿などで起こった宗教一揆。
- ⑥ ; 石川県金沢市にある山で、金沢城から見て東（卯辰の方角）に位置することから名づけられた山は、〇〇山。
- ⑦ ; 慶長年間、ジャカルタから渡来したというナス科の一年生作物。この〇〇いもは、お菓子にもなったり、新〇〇、肉〇〇など、親しみのあるいもです。
- ⑧ ; 幕末の志士で長州藩士「久坂玄瑞」は吉田松陰の妹婿。読み方は「〇〇げんすい」と言います。
- ⑩ ; 一回瞬く事。転じて、きわめてわずかな間。
- ⑫ ; 耳成山、香具山と供に、大和三山の一つで、山争い伝説の残る山。
- ⑬ ; 悪魔を避けるための物は、魔〇〇などと呼ばれています。お守りや護符などがあります。
- ⑭ ; 国指定史跡である「吉崎御坊跡」は、吉崎御山と呼ばれ、昔はクロ〇〇林で有名でした。今は〇〇食い虫で、〇〇の切株が数多くあります。
- ⑮ ; 今年社会人になった息子。会社に初めて行って〇〇式に出た時は、緊張したそうです。



おひらせ



11月23日(土)

11月30日(土)

12月 1日(日)

12月 8日(日)

12月15日(日)

剣岳かりんてまつり

吉崎壮年団納会

春日神社清掃(予定)

吉崎地区各種団体連絡協議会

吉崎公民館大掃除

【キャノンのプリンターインクをお譲りします】吉崎公民館までご連絡下さい。(☎: 75-1205) 型番は、下記のとおりです。キャノンのプリンターをお持ちの方のご連絡を、お待ちしております。

Canon 320PGBK-ブラック・321BK-ブラック・321C-シアン・321M-マゼンタ 各1個